

# 中海・宍道湖・大山圏域 8の字ルート研究会（仮称）の設立について

---

中海・宍道湖・大山圏域市長会

## 8の字ルート研究会（仮称）設立の経緯

---

- 令和元年度 圏域市長会 第2期地方版総合戦略を策定し、施策の柱のひとつに「未来をひらく交通ネットワークの形成」を掲げ、「8の字ルートの早期完成」を登載
- 令和2年度 中海・宍道湖圏域道路整備勉強会が国土交通省主導で設立され、道路整備の方向性について検討が始まる。
- 令和2年度 圏域市長会・ブロック経済協議会合同意見交換会に国土交通省中国地方整備局松浦利之道路部長出席
- 令和3年度 圏域市長会 圏域振興ビジョンを改訂し、基本方向のひとつ「ともに歩む圏域づくり」の基本目標「未来を創造する圏域8の字ルート等の整備促進」を記載

# 圏域振興ビジョン

## 第2章 中海・宍道湖・大山圏域の現状と分析（抜粋）

### 5 圏域の交通インフラ

---

中海・宍道湖・大山圏域は、日本海側で有数の人口や経済規模を有する都市圏であり、空と海の玄関口として複数の空港と港湾が立地するなど山陰地方の発展を牽引する役割を担っています。しかし、産業、観光、医療面等あらゆる分野において圏域のポテンシャルが十分に発揮されているとは言えず、高規格道路機能軸の強化並びに新幹線などの高速鉄道網等、交通インフラの整備促進が求められています。

近年では、自然災害が激甚・頻発化しており、日常生活・経済活動の早期再開を見据え、被災後もすぐに機能する道路ネットワークの整備が求められており、更なる連携強化が必要となっています。

# 圏域振興ビジョン

## 第2章 中海・宍道湖・大山圏域の現状と分析（抜粋）

### 5 圏域の交通インフラ

#### ■交通インフラに求める機能

##### 【通勤・通学 ⇒ 圏域内移動の円滑化】

- ・中海・宍道湖圏域が約7割
- ・自家用車の割合が約8割

##### 【人口 ⇒ 関係人口の創出・拡大】

- ・人口減少
- ・高齢化
- ・20代の人口流出

##### 【医療 ⇒ 送達性・安定性等の改善】

- ・三次医療機関が4つ立地
- ・救急搬送件数は増加傾向

##### 【圏域の産業構造 ⇒ 圏域の一体的発展】

- ・経済規模大、異なる特徴
- ・工業団地が多く立地

##### 【観光 ⇒ 観光地間の移動短縮】

- ・魅力的な観光地が点在
- ・空と海の玄関口を有する

##### 【災害 ⇒ 災害発生時の代替機能】

- ・浸水、落石の発生地域
- ・大雪等の冬季交通障害



# 圏域振興ビジョン

## 第2章 中海・宍道湖・大山圏域の現状と分析（抜粋）

### 5 圏域の交通インフラ

---

#### 【中海・宍道湖・大山圏域のポテンシャル】

- ・人口、経済規模が大きい
- ・各種資源が豊富
- ・観光客の増加に期待 など



ポテンシャルを発揮するため速やかに交通ネットワークを強化

## 8 の字ルート研究会（仮称）設立について

---

- ・ 設立趣旨及び規約・・・別紙のとおり
- ・ 組織、委員構成（規約に基づくもの）
  - ・ 研究会委員 圏域5市 政策担当部長
  - ・ アドバイザー 東京大学地域未来社会連携研究機構  
羽藤英二教授
- ・ 研究会のもとに部会を設置

# 8の字ルートの研究會（仮称）のテーマ

---

## ○研究テーマ

圏域8の字ルートができることを前提に、8の字ルートをいかした圏域づくり

## ○研究方法

- (1) 下記の4つの視点により、8の字ルート整備後の圏域のあるべき姿について整理を行う。
- (2) 圏域のあるべき姿を実現するために、圏域全体の取り組むことにより生じる有効性を最大限に生かした取り組みについて議論する

- ①移動に要する時間の短縮が、圏域の経済活動や人々の生活様式に及ぼす直接的な影響について
- ② B/Cに現れない整備効果である、交流人口の増加や災害時の安定輸送などの間接的な影響について
- ③国土としての位置づけを含めた、圏域の新たなデザインについて
- ④SDGs、DXの推進等の現状を踏まえた、カーボンニュートラル、デジタル技術の活用について

- ①移動に要する時間の短縮が、圏域の経済活動や人々の生活様式に及ぼす直接的な影響について  
※企業誘致、物流、観光客滞在時間延長、施設共同利用の促進、医療体制の充実
- ② B/Cに現れない整備効果である、交流人口の増加や災害時の安定輸送などの間接的な影響について  
※交流人口の増加、災害時の安定運送、域内交流の促進、中心市街地の再活用
- ③国土としての位置づけを含めた、圏域の新たなデザインについて  
※東アジアのゲートウェイ 人口のダム機能の他、整備後に生じる圏域の新たな役割について
- ④SDG s、D Xの推進等の現状を踏まえた、カーボンニュートラル、デジタル技術の活用について  
※料金所通過の際の減速回避、自動運転の導入、自動車への非接触による電気供給 等



## 8の字ルート研究会（仮称）議論の進め方

---

- 圏域振興ビジョンの基本方向に沿った分野ごとに議論
- 研究会に部会（担当課長会）を設置し、調査研究を深める
- 部会報告に基づき研究会では議論を進める
- 適宜、「中海・宍道湖圏域道路整備勉強会」、「8の字ネットワーク整備による効果分析検討会」等の情報共有を図る
- 今年度中に中間報告を取りまとめる
- 市長会総会への報告、公表

## 8 の字ルート研究会スケジュール

---

- 9月 第1回研究会、第1回部会合同会議
- 10月 第2回各部会（企画、産業、観光）
- 11月 第3回 //
- 12月 第2回研究会 部会報告等
- 1月 第3回研究会 中間報告とりまとめ
- 2月 圏域市長会総会 中間報告  
公表